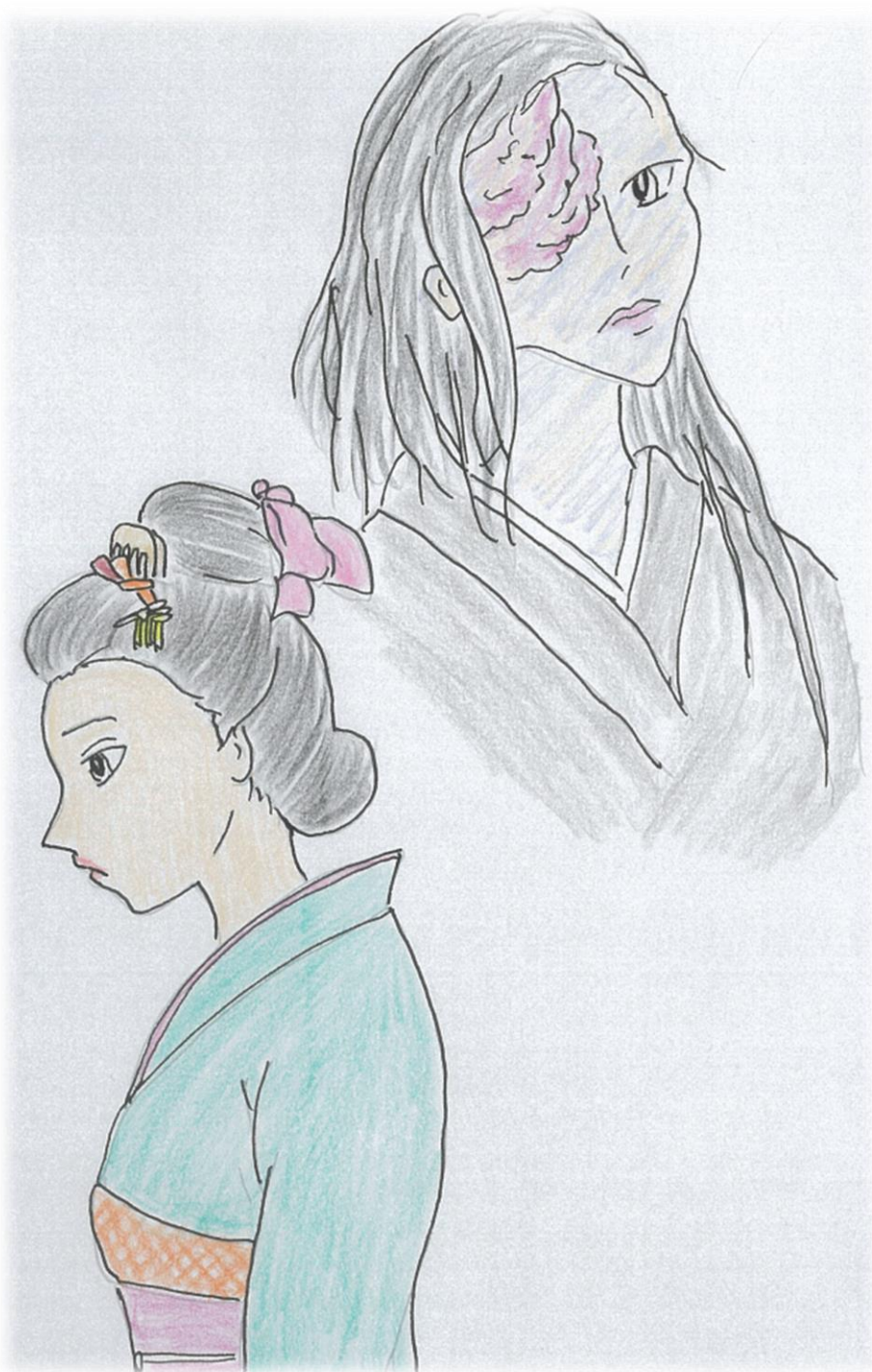


よ つ や か い だ ん

四谷怪談



か ひと しつびつしゃ たはた みつえ
書いた人／執筆者：田畑サンドーム光恵

か ひと ちゅうごく りゅうがくせい
イラストを描いてくれた人／中国からの留学生のYalu Zhouさん

ひと しつびつきょうりよくしゃ もりしたさちこせんせい
てつだってくれた人／執筆協力者：森下幸子先生

「読み物いっぱい」でご紹介するお話の字のフォントや全体のフォーマットが国際交流基金関西国際センターの「KC 読む読む」に似ていることがあります。これに関しては「KC 読む読む」の担当者の方にご了解を得ております。ここに温かいご協力に感謝の気持ちを表したいと思います。

むかし えどじだい はなし
昔むかしの、江戸時代のこわいお話

えど いま とうきょう
です。江戸は、今の東京のことです。

えど よつや ところ さむらい
江戸の四谷という所に、お侍がいま

なまえ よつや さもん さ
した。名前は、四谷左門でした。左

もん ふたり むすめ あね
門には、二人の娘がいました。姉の

いわ いもうと そで
お岩と妹のお袖です。

えどじだい おんな ひと
江戸時代は、女の人、は、ふつう、

けっこん いわ
結婚をしなければいけません。でも、お岩は、なかなか

けっこん
か結婚できませんでした。

ひと しょうかい い えもん さむらい けっこん
しかし、ある人の紹介で、伊右衛門という侍と、結婚するこ



とになりました。紹介しょうかいをしてくれた人は、伊右衛門い えもんに、嘘うそを
言いっていました。「お岩いわさんは、とても美うつくしい。」と言いっていま
した。

そのため、伊右衛門い えもんは、最初さいしよから、お岩いわのことが嫌きらいでした。
お岩いわが、もうつくと美おんなしい女ひとの人おもだと思っていたからです。

それでも、伊右衛門い えもんとお岩いわには、子こどもが生まうれました。子
どもが生まうれた後あと、お岩いわは病びょうき気きになってしまいました。

病びょうき気で元げん気がきないお岩いわを、伊右衛門い えもんはもきらっと嫌きらいになって
いきました。

隣となりの家に、喜兵衛いえ きへいという侍さむらいがいました。彼かれは、自じ分の孫ぶんと
伊右衛門い えもんを結けっ婚こんさせたいと思おもっていました。

い え も ん と な り い え き へ い い わ じゃ ま
伊右衛門と、隣の家の喜兵衛にとって、お岩は、邪魔な

に ん げ ん ふ た り い わ い え お だ お も
人間でした。二人は、お岩を家から追い出そうと思いました。

い え も ん と も だ ち た く え つ い わ お そ い
そこで、伊右衛門は、友達の宅悦に、お岩を襲うように言

お な ひ と な り い え き へ い い わ
いました。ちょうど同じ日、隣の家の喜兵衛も、お岩に、

び ょ う き く す り の い お そ
「病気がよくなる薬だから、飲みなさい。」と言って、恐ろし

く す り
い薬をあげました。

よ る い え も ん と も だ ち た く え つ い わ い え
夜になって、伊右衛門の友達の宅悦が、お岩の家にやって

い わ お そ た く え つ い わ
きました。お岩を襲うためでした。でも、宅悦が、お岩の

へ や はい と き
部屋に入った時！！！！

い わ ば か お か み け ぬ
お岩は、お化けのような顔をしていました。髪の毛は、抜け

て、あまりありませんでした。顔も大きくなっています。人間

の顔とは思えません。



お岩は、隣の家いわりの喜兵衛とさり いえ き へいにもら

った、恐ろしい薬おそを飲んだのです。くすりの

この薬くすりは、毒薬どくやくでした。

お岩のお化けいわりのような顔ぼを見て、かお み

伊右衛門い えもんの友達ともだちの宅悦たくえつは、

「ひiiiiiiii〜〜〜〜。」と、

そこたおに、倒れてしまいました。

お岩は、「隣いわりの家となりの喜兵衛いえさんきに、もらった薬くすりのを飲みました。

とても、^{くる}苦しい。^{かみ}髪^けの毛も、^ぬどんどん^{たくえつ}抜けます。宅悦さん、ど

^{くすり}うして、薬^きは効かないのでしょうか。^{おし}教えてください。」

^ばお化け^{かお}のような顔^{いわ}で、お岩^{たくえつ}は宅悦^きに聞きました。その怖い^{こわ}

^{かお}顔^みを見て、宅悦^{たくえつ}は、^{ほんとう}本当^{はな}のことを話しました。

「^{しゅじん}あなたの主人^いの伊右衛門^{えもん}さんも、^{となり}隣の^{いえ}家の^き喜兵衛^{へい}さんも、

^{じゃ}あなた^まを邪魔^{おも}だと思っている。伊右衛門^いさんは、^{えもん}私^{わたし}に、あな

^{おそ}た^いを襲^{となり}うように言^{いえ}った。^き隣の^{へい}家の^{くすり}喜兵衛^きさんがくれた薬^{へい}も、

^{おそ}き^{くすり}っと恐^{どくやく}ろしい薬^きです。毒^{くすり}薬^きですよ。」

^{はなし}その話^きを聞^{いわ}いて、お岩^{おこ}はびっくりしました。怒^{おこ}りました。そして、

^{たくえつ}宅悦^きの着^{もの}物^いをつかんで、言^{わたし}いました。「^{じゃ}どうして、私^まが邪魔

^{わたし}なのですか。私^{わたし}は、^{なに}何^{わる}も悪^{こと}い事^{わたし}をしていません。どうして、私

どくやく の
に毒薬を飲ませたのですか。」

たくえつ いわ かお こわ わたし なに し はな
宅悦は、お岩の顔が怖いので、「私は何も知りません。放
してください。放してください。」と頼みました。

いわ たくえつ きもの はな なんかい たくえつ
でも、お岩は、宅悦の着物を放しません。何回も宅悦が、
はな いわ はな
「放してください。」、お岩が、「放しません。」とけんかをして
あいだ たくえつ も かたな いわ からだ
いる間に、宅悦の持っていた刀が、お岩の体にささりました。
いわ し
そして、お岩は死んでしまいました。

し まえ いわ い かな くや
死ぬ前、お岩はこう言いました。「悲しい。悔しい。ぜったい、
しゅじん い えもん となり いえ き へい ころ
主人の伊右衛門と、隣の家いえの喜兵衛を、殺す。」

いわ し いわ しゅじん い えもん となり いえ
お岩が死んでも、お岩の主人の伊右衛門と隣の家いえの

き へ い じ ぶ ん わ る お も
喜兵衛は、自分たちが悪い、とは思いませんでした。そして、

い わ し ゅ じ ん い え も ん と な り い え き へ い ま ご け っ こ ん
お岩の主人の伊右衛門は、隣の家の喜兵衛の孫と結婚
しました。



Labelled for reuse image
Source: <https://bit.ly/2GCo8Sv>
Publication Date: July 1959

け っ こ ん よ る い え も ん
しかし、結婚した夜、伊右衛門は、

と な り い え き へ い ま ご か お い わ
隣の家の喜兵衛の孫の顔が、お岩

か お み こ ろ
の顔に見えたので、殺してしまいまし
た。

い え も ん ま え
それから、伊右衛門の前には、

ま い ぼ ん い わ ぼ で こ わ い え も ん
毎晩、お岩のお化けが出てきました。怖くなった伊右衛門

ま い に ち て ら い わ た し わ る こ と か み さ ま ゆ る
は、毎日お寺に行き、「私は悪い事をしました。神様、許

い よ る か な ら い わ
してください。」と言います。でも、夜になると、必ず、お岩の

お化けがや^ばって来^きます。

伊右衛門^{い え もん}は、どん^あどん頭^{たま}がおかしくな^あっていき^まました。

最^{さい}後^ごには、お岩^{いわ}の妹^{いもうと}、お袖^{そで}の主^{しゅ}人^{じん}が、伊右衛門^{い え もん}のした悪^{わる}

い事^{こと}を知^しって、伊右衛門^{い え もん}を殺^{ころ}しました。(1178語)



いわ じんじゃ
お岩^{いわ}さん^{じんじゃ}をまつている神社

Labelled for reuse image:<https://bit.ly/2s0122V>

Copyright of image (Author): Rubber Soul